

Quality is more than a word

ESPEC



第 **66** 期

中間株主通信

2018年4月1日から2018年9月30日まで



株主のみなさまへ



代表取締役社長 いしだ まさあき
石田 雅昭

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

2018年度 第2四半期累計期間(2018年4月1日～9月30日)の日本経済は、米中貿易摩擦や大規模な自然災害の影響などにより先行き不透明な状況が継続しているものの、企業の好調な業績や人手不足への対応などを背景に設備投資は好調に推移いたしました。こうした中、当社は自動車やIoT関連市場を

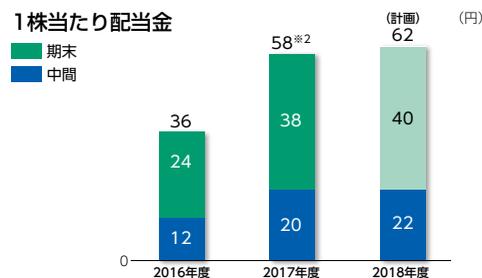
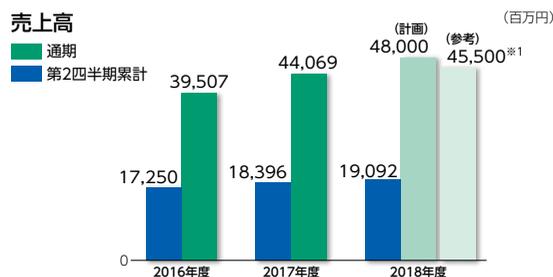
ターゲットとした環境試験器のカスタマイズ力の強化やエネルギーデバイス製品の開発に取り組むとともに、国内および中国・韓国・欧州・ASEANなどの海外市場での売上拡大に取り組んでまいりました。主力の環境試験器につきましては、国内市場では、汎用性の高い標準製品、カスタム製品ともに好調に推移いたしました。海外市場では、米国・韓国の売上高は前年同期比で減少したものの、中国・東南アジア・欧州は増加いたしました。

こうした結果、連結業績といたしましては、前年同期比で売上高は3.8%増加、営業利益は2.1%増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は9.0%の増加となりました。中間配当金につきましては、1株当たり22円とさせていただきます。

2018年度におきましては、海外連結子会社の決算期統一のため、連結対象期間を国内連結子会社は従来通り12カ月間(2018年4月～2019年3月)、海外連結子会社は15カ月間(2018年1月～2019年3月)とした変則決算となります。通期の連結業績につきましては、売上高は48,000百万円、営業利益は4,800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3,550百万円を計画しております。

なお、従来通り海外連結子会社の決算が12カ月(2018年1月～2018年12月)であった場合の計画は、売上高は45,500百万円、営業利益は4,700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3,500百万円です。期末配当金につきましては、1株当たり40円、年間で62円を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



*1 海外連結子会社の決算期が12カ月間であった場合の業績予想
*2 記念配当 中間1円、期末1円を含む

意欲と能力のある人材への多彩な成長支援 新しい価値を創造する人材の育成

エスペックでは自己啓発をはじめ、階層別や職種別、課題別に応じた体系的な教育制度を整備し、意欲と能力のある人材への多彩な成長支援を行っています。今回の特集では、人材育成の取り組みについてご紹介します。

グローバル人材の育成

グローバルに活躍する中核的人材を育成するため、海外研修制度「グローバル・トレーニー・プログラム」を実施しています。本プログラムはアメリカやドイツ、中国、タイなどの海外グループ会社に、若手社員を3ヵ月～1年間派遣して研修を行う制度です。

現地での実務経験を通して、実践的な語学力を養うとともに、グローバルな考え方や幅広い見識を身につけます。目的と研修期間に応じて短期・中期・長期の3つのコースがあり、帰国した社員は、海外研修での経験を活かして、各拠点で活躍しています。



米国子会社 (ESPEC NORTH AMERICA, INC.) にて研修

女性社員の育成

当社は意欲や能力のある女性が働きやすく活躍できる組織づくりに取り組んでいます。女性社員に対しては、選抜社員を対象とした「女性リーダー育成研修」や、若手社員のキャリア形成支援を目的とした「キャリアデザイン研修」を行っています。2013年度より実施している女性リーダー育成研修では、2年間のプログラムでリーダーになるための心構えやスキルを学びます。延べ23名が受講しており、修了後は複数の女性社員が管理職やリーダー職に昇格し活躍しています。また、管理職を対象とした研修も実施し、女性活躍について職場での理解浸透を図っています。



リーダーになる心構えやスキルを学ぶ女性リーダー育成研修

新入社員研修「クリーンサービス研修」の実施

新入社員に対しては、基礎研修や工場研修、クリーンサービス研修などを約5ヵ月間にわたり実施しています。なかでも30年以上続くエスベック伝統の取り組みが「クリーンサービス研修」です。本研修では、新入社員がお客さま先の当社製品の清掃を無償で行い、そこで収集したお客さまの声の分析結果と、お客さま満足に応えるための提案を発表します。研修を通じて、主体的に行動することや、責任をもって目標を達成することの大切さを学びます。

新入社員ならではの新鮮な提案は事業活動にも活かされています。



新入社員が社長や役員の前で
クリーンサービス研修の成果を発表

ETC講座(ESPEC Training Course)の設置

エスベックでは、社員一人ひとりが計画的・継続的に自己能力開発が行えるよう自己啓発教育支援に力を入れています。1973年より実施しているETC講座(ESPEC Training Course)は、休日などに社内外の講師が仕事に役立つさまざまな講座を行っています。社員が講師となって行う講座では、環境試験装置の冷凍・空調技術やネットワーク機能など、エスベック独自の技術や知識を学ぶことができます。毎年、新講座を開講するなど継続的に充実を図っており、2017年度は415名がETC講座を受講しました。



専門知識を持つ社員が講師となって
授業を実施

社員講師からの講座紹介

ETC講座 エスベックカフェ中国語講座

私が講師をしている中国語講座は、中国語の基本的な発音・文型から実用的な日常会話までを学ぶ全10回(期間:3ヵ月)のコースです。講座は勤務時間後に社内で行っており、参加しやすいのがメリットです。講師を含めて全員が社員であるため、気軽に質問でき、楽しく学ぶことができます。授業では、語学の知識だけでなく、中国文化の紹介なども織り交ぜ、興味を持って学べるよう工夫しています。



エスベックビジョン支援室
サポートグループ きょう
姜



ハイパワー恒温(恒湿)器 ARシリーズ 急速温度変化タイプ「5℃/分」を発売

2018年9月、ハイパワー恒温(恒湿)器 ARシリーズ 急速温度変化タイプ「5℃/分」を発売しました。欧州自動車メーカーと取引する車載部品メーカーは、信頼性の確保に向けて、国際標準のIEC規格^{※1}やドイツ自動車業界規格「LV124」などに定められた「急速温度変化試験」への対応が求められています。本製品はこうした試験規格に適合しており、有試料で5℃/分の温度変化試験ができます。冷媒は、環境に配慮した低GWP(地球温暖化係数)^{※2}冷媒を使用しています。国内では5年間無償で修理対応し、長く安心してお使いいただくことができます。

- ※1 国際電気標準会議 (International Electrotechnical Commission) が制定する国際規格
- ※2 Global Warming Potentialの略称
二酸化炭素を基準にして、ほかの温室効果ガスがどれだけ温暖化する能力があるかを表した数字のこと



ハイパワー恒温(恒湿)器 ARシリーズ
急速温度変化タイプ「5℃/分」

埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)に 大型環境試験器を納入

2018年3月、埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)に、人工気象室や減圧恒温恒湿槽などを納入しました。SAITECは、技術支援・研究開発支援・事業化支援の3つの基本支援を柱に、企業の技術開発や新製品開発を支援する公設試験研究機関です。納入した人工気象室は、過酷な環境下で使用される自動車部品や樹脂部品などに対する信頼性試験で用いられています。また、航空機が飛行する地上から成層圏までの気圧を再現できる減圧恒温恒湿槽は、航空機輸送を想定した試験や減圧環境下での特性評価試験などで用いられています。



SAITECに納入した人工気象室
灼熱の砂漠、亜熱帯、寒冷地などあらゆる環境が再現でき、実際に使用される気象環境下で製品の信頼性評価を行います

株主アンケート結果のご報告

第65期株主通信のアンケートでは多くの株主さまからご回答をいただきました。

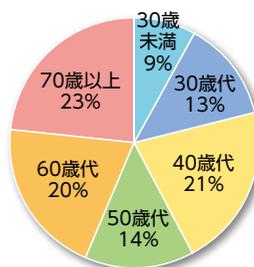
ご協力いただき、誠にありがとうございました。

みなさまからの貴重なご意見を真摯に受け止め、今後のIR活動に活かしてまいります。

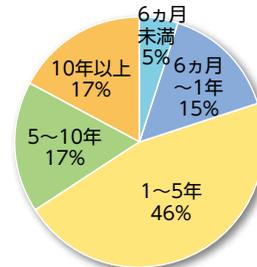
ここに、株主さまからの声を一部ご紹介します。

ご回答者数 **1,963**名 (男性:76% 女性:24%)

世代別



当社株式保有期間



株主さまからの声

人材育成について特集してほしい。

エスペックでは、新しい価値を創造する人材の育成に向け、社員への多彩な成長支援を行っています。P.3~4の特集では、グローバル人材や女性リーダーの育成、自己啓発教育支援などエスペックの人材育成についてご紹介しました。

環境に配慮した製品の開発をお願いします。

2017年に国内環境試験器メーカーで初めて、地球温暖化への影響がより小さい低GWP冷媒[R-449A]を使用した環境試験器を発売しました。P.5でご紹介した新製品も低GWP冷媒を使用しています。今後も環境配慮製品の開発に注力してまいります。

高度加速寿命試験装置 HAST チャンバーがグッドデザイン賞を受賞

2017年にモデルチェンジした高度加速寿命試験装置 HASTチャンバーが、公益財団法人日本デザイン振興会より「2018年度グッドデザイン賞」を受賞しました。高度加速寿命試験装置での受賞は今回で5回目となります。本製品は、電気・電子部品に高温・高湿・高圧力の3つのストレスを与えて寿命を短時間で評価する装置です。今回の受賞では、装置の使いやすさが象徴的にデザインされている点が評価されました。

 **GOOD DESIGN
AWARD 2018**



経営体制のご紹介

2018年6月22日の第65回定時株主総会で取締役7名、監査役2名が選任されました。
当社の経営体制をご紹介します。



(前列左から)	常務取締役 島田 種雄	社外取締役 長野 寛之	代表取締役社長 石田 雅昭	社外取締役 小杉 俊哉	常務取締役 石井 邦和	
(後列左から)	取締役 上席執行役員 荒田 知	取締役 上席執行役員 末久 和広	社外監査役 山本 哲男	社外監査役 堤 昌彦	常勤監査役 村上 充	常勤監査役 今石 義人
	上席執行役員 村上 精一	上席執行役員 大島 敬二	執行役員 浜野 寿之	執行役員 淵田 健二	執行役員 西谷 淳子	執行役員 渡部 克彦

新任取締役・監査役のご紹介



取締役 上席執行役員
末久 和広

製品開発や設計分野に携わり、2014年4月からはカスタム機器本部長として成長戦略を推進しています。

先端産業分野におけるカスタム対応力の強化などに取り組み、中期経営計画「プログレッシブプラン2021」の達成を目指してまいります。

1987年 4月 当社入社
2011年 4月 設計本部 カスタム設計2部長
2014年 4月 カスタム機器本部長（現在）
2016年 4月 執行役員
2018年 4月 上席執行役員（現在）
2018年 6月 取締役（現在）



取締役 上席執行役員
荒田 知

中国子会社の経営で培った経験と知識を活かして、2017年4月からは中国事業推進室長として成長戦略を推進しています。今後は「ESPEC Vision 2025」達成に向けて、中国事業のさらなる拡大などグローバル化に取り組んでまいります。

1991年 4月 当社入社
2015年 1月 ESPEC (CHINA) LIMITED 取締役（現在）
2017年 4月 執行役員
中国事業推進室長（現在）
2018年 1月 愛斯佩克環境儀器（上海）有限公司
董事長（現在）
上海愛斯佩克環境設備有限公司 董事長（現在）
2018年 4月 上席執行役員（現在）
2018年 6月 取締役（現在）



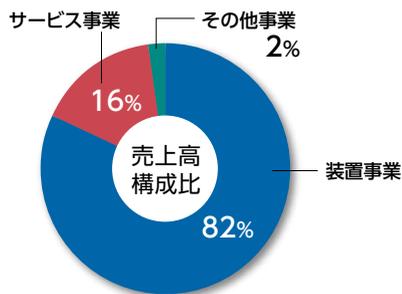
常勤監査役
今石 義人

財務経理部長として財務・経理分野に携わるとともに、子会社であるエスペックテストシステム株式会社の監査役として監査業務に従事してまいりました。

エスペックの健全かつ持続的な発展に向け、これまでの経験と知識を活かして経営を監査してまいります。

1986年 4月 当社入社
2007年 4月 財務経理部長
2018年 6月 常勤監査役（現在）

事業セグメント別概況



〈装置事業〉

- 環境試験器
- エナジーデバイス装置
- 半導体関連装置

〈その他事業〉

- 環境保全
森づくり・水辺づくり・都市緑化など
- 植物育成装置
植物工場、研究用育苗装置など

〈サービス事業〉

- アフターサービス・エンジニアリング
- 受託試験・レンタル

装置事業

売上高は増加したものの、販管費の増加により減益

環境試験器では、国内市場において、汎用性の高い標準製品、カスタム製品ともに好調に推移しました。海外市場においては、米国・韓国の売上高は前年同期比で減少したものの、中国・東南アジア・欧州は増加しました。環境試験器全体では受注高・売上高ともに前年同期比で増加しました。

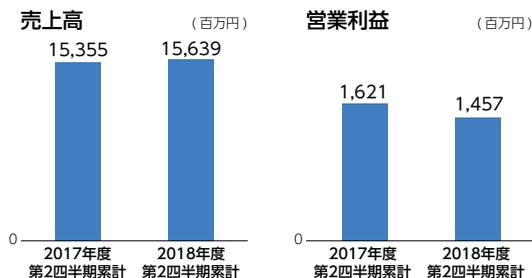
エナジーデバイス装置では、二次電池評価装置の受注が好調に推移し、受注高は前年同期比で増加しましたが、売上高は前年同期比で減少しました。

半導体関連装置では、受注高・売上高ともに好調であった前年同期比で減少しました。

装置事業全体では、前年同期比で売上高は1.9%増加し、営業利益は研究開発費などの販管費の増加により、10.1%減少しました。



自動車関連規格に対応
ハイパワー恒温(恒湿)器 ARシリーズ 急速温度変化タイプ



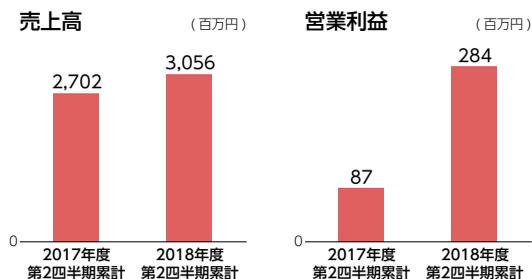
サービス事業

テストコンサルティングが好調に推移し、増収増益

アフターサービス・エンジニアリングでは、受注高は前年同期比で増加し、売上高は微増となりました。受託試験・レンタルでは、受注高は前年同期並みとなりましたが、売上高はテストコンサルティングが好調に推移し、前年同期比で増加しました。サービス事業全体では、前年同期比で売上高は13.1%増加し、営業利益は増収と原価率の改善により225.3%増加しました。



バッテリー安全認証センター(安全性試験計測室)
国連規則に対応した車載用二次電池の「試験」+「認証」サービスを提供



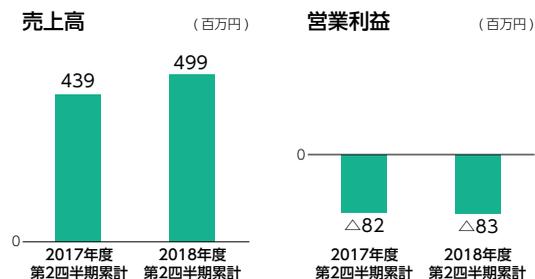
その他事業

売上高は増加したものの、営業損失

環境保全事業および植物工場事業を営むエスペック株式会社では、受注高は前年同期並みとなりましたが、売上高は前年同期比で増加しました。その他事業全体では、前年同期比で売上高は13.7%増加しました。利益面については、原価率の悪化と販管費の増加により営業損失となりました。



森や緑地を診断し、今後の生物多様性保全活動について
アドバイスを行うサービスを提供



要約財務諸表

連結貸借対照表

(百万円)

科目	前第2四半期末 2017年9月30日	前年度末 2018年3月31日	当第2四半期末 2018年9月30日
資産の部			
流動資産	34,113	39,251	37,138
固定資産	15,013	14,957	14,680
有形固定資産	9,735	9,727	9,694
無形固定資産	864	845	774
投資その他の資産	4,413	4,384	4,211
① 資産合計	49,127	54,208	51,819
負債の部			
流動負債	9,464	12,544	10,322
固定負債	1,690	1,720	1,540
② 負債合計	11,155	14,264	11,862
純資産の部			
株主資本	37,309	38,992	39,394
資本金	6,895	6,895	6,895
資本剰余金	6,914	6,914	7,120
利益剰余金	24,491	26,174	26,576
自己株式	△991	△992	△1,197
その他の包括利益累計額	661	951	562
③ 純資産合計	37,971	39,943	39,956
負債純資産合計	49,127	54,208	51,819

※2019年3月期第1四半期より、2018年2月16日公表の税効果会計基準の改正(企業会計基準第28号)を適用しており、2017年9月30日時点および2018年3月31日時点の連結貸借対照表も本改正適用後の数値に修正しています。

① 総資産

前年度末と比べ2,388百万円の減少となりました。その主な要因は、前年度末に計上された売上債権の回収に伴う受取手形及び売掛金ならびに電子記録債権の減少4,247百万円、受注残高の増加に伴う仕掛品等のたな卸資産の増加1,196百万円などによるものです。

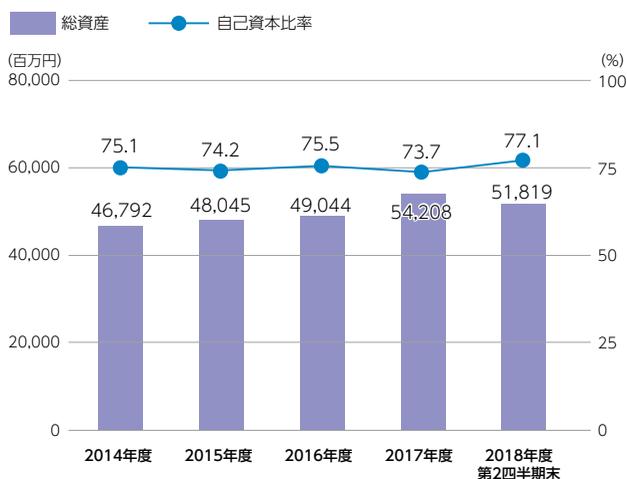
② 負債

前年度末と比べ2,401百万円の減少となりました。その主な要因は、仕入債務の支払いに伴う支払手形及び買掛金ならびに電子記録債務の減少1,159百万円、その他流動負債の減少496百万円、未払法人税等の減少339百万円などによるものです。

③ 純資産

前年度末と比べ13百万円の増加となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,270百万円の計上および剰余金の処分868百万円に伴う利益剰余金の増加402百万円、その他有価証券評価差額金の減少226百万円などによるものです。

総資産・自己資本比率



※2019年3月期第1四半期より、2018年2月16日公表の税効果会計基準の改正(企業会計基準第28号)を適用しており、2017年度の総資産も本改正適用後の数値に修正しています。

連結損益計算書

(百万円)

科目	前第2四半期累計 2017年4月1日から 2017年9月30日まで	当第2四半期累計 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	前年度 2017年4月1日から 2018年3月31日まで
売上高	18,396	19,092	44,069
売上原価	11,770	12,062	28,487
売上総利益	6,625	7,030	15,581
販売費及び一般管理費	4,999	5,371	10,979
営業利益	1,625	1,659	4,602
営業外収益	89	147	171
営業外費用	24	75	27
経常利益	1,691	1,732	4,746
特別利益	4	0	7
特別損失	2	5	7
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,693	1,727	4,746
法人税、住民税及び事業税	527	456	1,437
四半期(当期)純利益	1,165	1,270	3,308
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,165	1,270	3,308

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科目	前第2四半期累計 2017年4月1日から 2017年9月30日まで	当第2四半期累計 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	前年度 2017年4月1日から 2018年3月31日まで
④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,856	2,028	3,965
⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△294	△229	△269
⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△550	△878	△1,019
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55	△71	31
現金及び現金同等物の増減額	1,956	849	2,709
現金及び現金同等物の期首残高	11,254	13,963	11,254
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	13,211	14,812	13,963

④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

2,028百万円の資金の増加となりました。その主な要因は、売上債権の減少4,057百万円、たな卸資産の増加1,484百万円などによるものです。

⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

229百万円の資金の減少となりました。その主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出248百万円などによるものです。

⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

878百万円の資金の減少となりました。その主な要因は、配当金の支払額866百万円などによるものです。

会社概要・株式の状況・株主メモ

会社概要(2018年9月30日現在)

社名	エスペック株式会社
本社	〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6
創業	昭和22年(1947年)7月25日
設立	昭和29年(1954年)1月13日
資本金	6,895百万円
従業員数	1,519名(連結) 816名(単体)

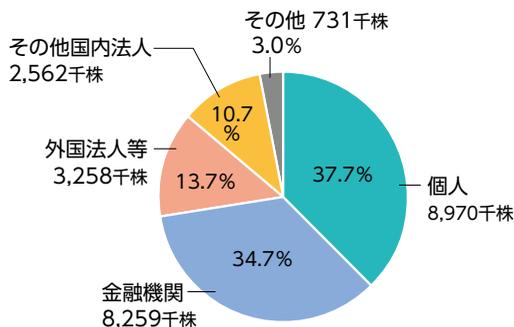
役員(2018年6月22日現在)

代表取締役社長	石田 雅昭
常務取締役	島田 種雄
常務取締役	石井 邦和
取締役 上席執行役員	末久 和広
取締役 上席執行役員	荒田 知
社外取締役	長野 寛之
社外取締役	小杉 俊哉
常勤監査役	村上 充
常勤監査役	今石 義人
社外監査役	山本 哲男
社外監査役	堤 昌彦
上席執行役員	村上 精一
上席執行役員	大島 敬二
執行役員	浜野 寿之
執行役員	淵田 健二
執行役員	西谷 淳子
執行役員	渡部 克彦

株式の状況(2018年9月30日現在)

発行済株式総数	23,781,394株 (自己株式731,087株を含む)
株主数	6,345名

所有者別株式数分布状況



大株主

株主名	持株数 千株	持株比率 %
日本ラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	2,006	8.43
エスペック取引先持株会	2,004	8.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,610	6.77
佐々木嘉樹	1,030	4.33
日本生命保険相互会社	790	3.32
エスペック従業員持株会	739	3.11
エスペック株式会社	731	3.07
株式会社みずほ銀行	513	2.15
株式会社立花エレテック	419	1.76
野村信託銀行株式会社(投信口)	352	1.48

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
中間配当制度	有
基準日	3月31日および取締役会決議によって あらかじめ公告して臨時に定めた日
株式上場取引所	東京証券取引所(証券コード:6859)
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先	0120-288-324(通話料無料) (土・日 祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店	みずほ証券株式会社 (本店および全国各支店、フラネットブース(株式会社みずほ銀行内の店舗)) みずほ信託銀行株式会社(本店および全国各支店)
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行株式会社(本店および全国各支店) 株式会社みずほ銀行(本店および全国各支店) (みずほ証券株式会社では取次のみとなります)
公告方法	電子公告 電子公告掲載の当社ホームページURL https://www.espec.co.jp/ir/stock/notice.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載

お問合せ先

エスベック株式会社 コーポレートコミュニケーション部
Tel:06-6358-4744 e-mail: ir-div@espec.jp

ホームページのご案内

当社ホームページが、日興アイ・アール主催の「2017年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」において、優秀サイトに選定されました。

中期経営計画や業績・財務データ、株式情報などさまざまな情報をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

<https://www.espec.co.jp>



東証IRフェスタ2019出展のご案内

東京証券取引所が主催する個人投資家向けイベント「東証IRフェスタ2019」に出展します。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

<開催日時>

2019年2月22日(金) 10:00~18:00

2019年2月23日(土) 10:00~18:00

<会場>

東京国際フォーラム B2F ホールE

〒100-0005

東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

証券コード: 6859

エスペック株式会社



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC™ C084686

